

記者発表資料

BIM/CIM利活用事例やアイデアを募集します！

～荒池DXチャレンジ企画～

当事務所では、i-Construction の普及・促進活動の一環として、多くの方々に3次元データを積極的に利活用していただくことを目的として、これまでに荒川第二・三調節池事業の多くの BIM/CIM データを公開してきました。

この度、3次元データの更なる普及・利活用に向けて、公開データの利活用事例と今後の利活用アイデアを募集します。

利活用事例やアイデアに制限は設けません。多様な分野で利用促進に繋がる内容を期待します。

なお、いただいた利活用事例については、好事例として当事務所ホームページで紹介するほか、面白いアイデア・夢のあるアイデアについては取材も予定しています。

「荒池DXチャレンジ企画」とは？

荒川調節池事業の3次元データや施エヤードなどを提供し、新たなデジタル技術の発信、現場実証、民間発想の掘り起こし等を期待した取り組みです。

この企画の取組を他のプロジェクトや現場にも広げ、建設業界全体の DX が推進されることを目標としています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、
さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

建設DX推進室長 : こばやし 小林 ひろゆき 裕之

調査設計課長 : ささうち 笹内 かつゆう 覚雄

電話 048-767-6041、FAX 048-767-6046

荒川調節池 BIM/CIM データ利活用事例・アイデア

募集要領

1. 実施目的

荒川調節池事務所は、地方公共団体や建設業者、建設関連業者等における3次元データ利活用の振興を図ることを目的に、当事業のBIM/CIMデータを公開しています。この度、本公開データを活用した事例や活用アイデアを、様々な主体から幅広く募集し、更なる3次元データの普及・利活用につなげていきたいと考えています。

2. 募集内容

- ・荒川調節池工事事務所で公開しているBIM/CIMデータを利活用した事例
- ・荒川調節池工事事務所で公開しているBIM/CIMデータの利活用に向けたアイデア
※建設分野に限らず、多様な分野での事例・アイデアも募集します。

3. 提出方法

以下の提出様式をお使いいただき、建設DX推進室まで、メールでお寄せください。

<送付様式>

事例・アイデア送付様式 [Excel ファイル] [Word ファイル]

<提出先>

荒川調節池工事事務所 建設DX推進室

E-mail: ktr-araike-chousa@mlit.go.jp

※件名を「荒川調節池 CIM 活用・アイデア」としてお送りください。

4. 留意事項

- ・利活用事例やアイデアについて、取材等のため、当事務所よりご連絡させていただく場合があります。
- ・利活用事例やアイデアについて、当事務所ホームページ上でご紹介させていただく場合があります。
- ・お寄せいただいたアイデアの一部採用、又は一部を変更して利用することがあります。また、アイデアの採用経過や判断などに対する個別の回答は行いません。
- ・提出者又は提案者に対する褒賞金等はありません。

荒川調節池BIM/CIMデータ利活用事例・アイデアについて

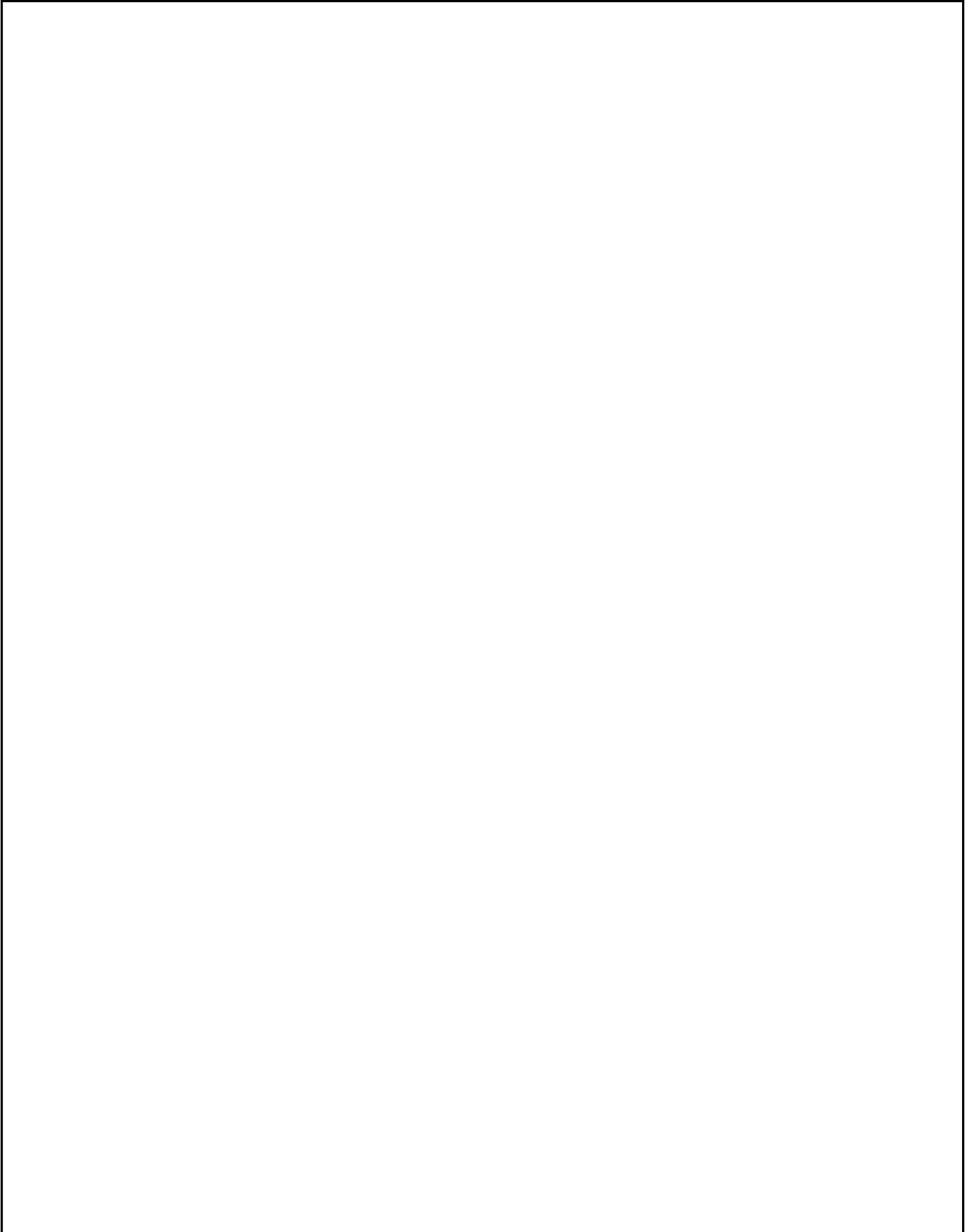
氏名 ※団体の場合は代表者のみ	(フリガナ)
団体名 ※団体の場合のみ	
TEL	
E-mail	
利活用事例・アイデア の内容※1	

※1 記入スペースが不足する場合等、別紙(様式自由)として提出いただいても構いません。

荒川調節池BIM/CIMデータ利活用事例 利活用状況写真

利活用状況の分かる写真の提供をお願いいたします。

提出いただいた写真については、事務所HP等でご紹介させていただく場合があります。



※スペースが不足する場合、本シートをコピーしてご使用ください。